

統合分野・統合実習の計画

実習目的	看護チームの一員として、主体的に看護を実践し、チームメンバーの役割について考え、その責任を果たす行動について理解することができる。
実習目標	<p>1. 看護チームの一員として受け持ち患者のケアの責任を果たす行動について理解できる。</p> <p>2. 看護師として必要な態度と自己の課題を明確にできる。</p>
実習方法	<p>1. グループ人数      1グループ4～5名</p> <p>2. 指導体制          1グループに教員1名</p> <p>3. 実習内容</p> <p>1) 受け持ち患者のケアの責任</p> <p>    (1) 受け持ち患者のケアの責任</p> <p>        ①受け持ち患者の計画立案</p> <p>        ②患者に合わせた安全・安楽な援助の実施</p> <p>        ③介入計画の評価と継続</p> <p>    (2) 多重課題における看護の優先順位の判断の理解</p> <p>        ①本日の行動計画の立案</p> <p>        ②看護師のシャドウイング</p> <p>2) 看護師として必要な態度と自己の課題の明確化</p> <p>    (1) 専門職業人としての必要な接遇</p> <p>    (2) 患者を理解しようとする態度</p> <p>    (3) チームへの報告・連絡・相談</p> <p>    (4) 自己の看護観の整理</p> <p>4) 実習時間          2単位90時間</p>
評価方法	<p>実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。</p> <p>実習評価表は実習要綱に提示する。</p>
先修条件	<p>専門分野Ⅰ、2年次で行う臨地実習（成人Ⅰ・Ⅱ、老年Ⅰ、小児Ⅰ）の単位修得</p> <p>専門分野Ⅱの成人Ⅲ、老年Ⅱ、小児Ⅱ、母性、精神看護学実習の履修</p>